



子どもたちに豊かなスポーツ・文化芸術体験を届けるために

休日の部活動の地域移行

に向けた取組を進めています！

国や県は、公立中学校等の休日の部活動を段階的に地域へ移行する方向性を示しており、本市においても、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続的に親しめる環境を整えるため、休日の部活動の地域移行に向けた取組を進めています。

背景1 久留米市内の中学生の減少

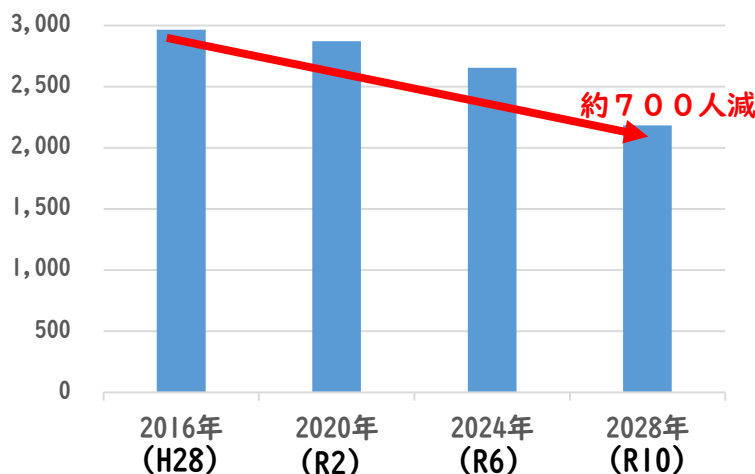
久留米市の14歳人口の推移は、減少傾向にあり、2028年には、現在より約700人減少すると予想されます。今後も久留米市の14歳人口は減少傾向が続き、部活動の競技人数も減少すると考えられます。中学生の数は、

14年間で **30%減少** (推測値)

また、部活動の競技人数の減少にともない、各学校では、部員が足りないことで、

存続が難しい部活動が出てきています。

久留米市14歳人口推移の予測



背景2 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

<部活動の意義>

- スポーツ・文化に親しむ機会
- 好ましい人間関係の構築
- 学習意欲や自己肯定感の向上
- 責任感、連帯感の育成

<部活動の課題>

- 生徒にとって望ましい指導の機会損失 (少子化による存続の危機)
- 長時間勤務の要因
- 指導経験のない教員の負担

「持続可能な部活動」と「教師の負担軽減」の双方の実現が必要

- ★生徒の活動機会確保のため、休日に地域でスポーツ・文化活動を実施できる環境の整備
- ★休日に教師が部活動の指導に携わる負担を軽減できる環境の構築
- ★休日に指導を希望する教師が指導を行うことができる仕組みの構築

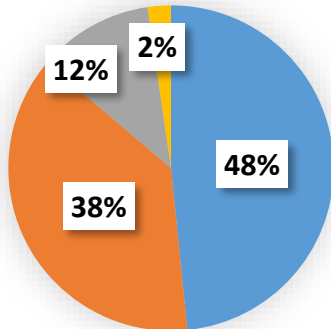
現在の部活動の在り方を見直し、学校と地域の連携、地域で子どもたちが活動できる環境整備等により、持続可能で豊かなスポーツ・文化芸術環境を再構築することを目指します。

部活動の地域移行についてのアンケート結果

【アンケート実施期間 令和6年1月12日（金）～1月22日（月）】

生徒の回答より

所属している部活動の満足度について



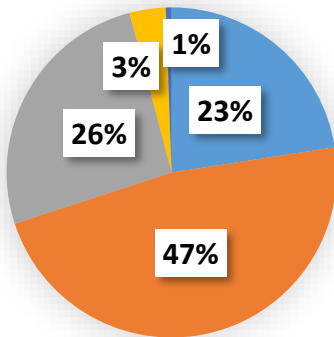
- 十分満足している 48%
- まあまあ満足している 38%
- あまり満足していない 12%
- 全く満足していない 2%
- 未回答 0%

86%

生徒の86%が満足している。（福岡県：72%）

保護者の回答より

所属している部活動の満足度について



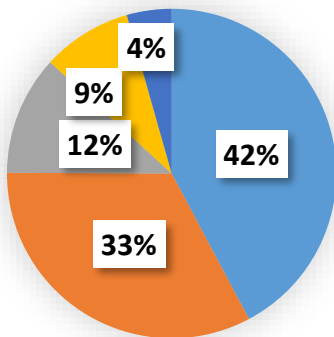
- 十分満足している 23%
- まあまあ満足している 47%
- あまり満足していない 26%
- 全く満足していない 3%
- 未回答 1%

70%

保護者の70%が満足している。（福岡県：66%）

教員の回答より

休日に部活動に関わることによる負担感



- かなり負担になっている 42%
- やや負担になっている 33%
- あまり負担になっていない 12%
- 全く負担になっていない 9%
- 未回答 4%

75%

75%の教師が負担に感じている。（福岡県：50%）
一方で、継続して指導したい教員も約20%いる。（久留米市）

久留米市の生徒・保護者ともに、部活動の満足感を実感しており、部活動がその教育的価値を発揮できていると考えられます。一方で、休日に部活動に関わることに負担感を感じている教師の割合が75%と高い結果が出ています。

「休日の学校単位での部活動」から「休日の地域クラブ活動」へ

部活動の地域移行とは・・・？

学校単位での部活動ではなく、**自己の目的に応じて**多様な活動が選択できるように各種団体等が運営する「**地域クラブ活動**」に子どもたちが参加していく取組です。

休日の地域クラブ活動とは・・・？

学校部活動の代わりに様々な実施主体による運営や指導が行われるクラブ活動です。それぞれの地域の実情に応じて、様々な運営形態があります。

■実施主体

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団
体育・スポーツ協会競技団体、民間事業者
文化芸術団体、地域学校協働本部

■活動場所

地域施設 学校施設等

■指導者

地域指導員等、教職員

■費用負担

保護者負担（会費等）

■保険

任意保険

主な利点

- ✓持続的な活動
- ✓他校生徒や多世代間での交流
- ✓専門的な指導
- ✓自己の目的に応じた活動

主な課題

- ✓運営団体、指導者の確保
- ✓会費等の負担
- ✓移動手段の確保
- ✓活動場所の確保

国が示す部活動改革期間について

現在、国・県は、令和5年度から令和8年度までの3年間で部活動の地域移行に向けた「改革推進期間」として取組を進めています。

また、令和6年12月には、これまでの改革推進期間の成果と課題を整理し、地方公共団体が中長期的な見通しと短期的な目標の双方をもち、改革に取り組むことができるように、新たに改革期間を設定しました。

休日の部活動の地域展開の確実な実行・定着や平日の改革に取り組むことができるように、名称を「地域移行」から「地域展開」に見直し、改革実行期間を設定しました。

「改革実行期間（前期3年→中間評価→後期3年）」

【国の新たな改革実行期間（休日・平日の部活動）】

改革実行期間

前期：令和8～10年度⇒中間評価⇒後期：令和11～13年度

地域移行に向けた改革推進期間

令和
5年度

令和
6年度

令和
7年度

令和
8年度

令和
9年度

令和
10年度

令和
11年度

令和
12年度

令和
13年度

〈休日〉**地域展開**

〈休日・平日〉**地域展開**

久留米市の休日の部活動地域移行推進期間

久留米市では、休日の部活動地域移行改革推進期間は、令和10年度までと設定しており、国の新たな方針を受けての変更はありません。なお、平日の地域展開の方向性については、今後の国・県の方向性をもとに検討を始めます。

【久留米市の改革推進期間（休日の部活動）】

久留米市の休日の部活動の地域移行改革推進期間

令和6年度

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和
11年度

令和
12年度

令和
13年度

平日の部活動については、今後の国・県の方向性をもとに検討

久留米市の休日の部活動地域移行のイメージ

- ・ 多数の部活動
- ・ 教職員の既存意識

- ・ 教職員、生徒、保護者の理解
- ・ 実施団体や指導者の確保

- ・ 持続可能な活動機会の創出
- ・ 教師の負担軽減

【学校部活動】 （現在）



（現在）

【休日の学校部活動を合同で実施】 第1段階 隣接校合同部活動



（移行準備期間）

【休日の地域クラブ活動】 第2段階 くるめ地域部活動



（令和8年度から順次）

段階的な移行を行うため、まず、**休日の合同部活動**を実施し、移行に向けた準備期間とします。なお、平日の部活動は、これまで同様の取り扱いです。

学校部活動が大切にしてきた教育的意義を継承・発展することができるよう、学校部活動から地域クラブ活動への引継ぎ期間を充実させ、円滑な地域展開を目指します。

久留米市の休日の部活動地域移行のスケジュール

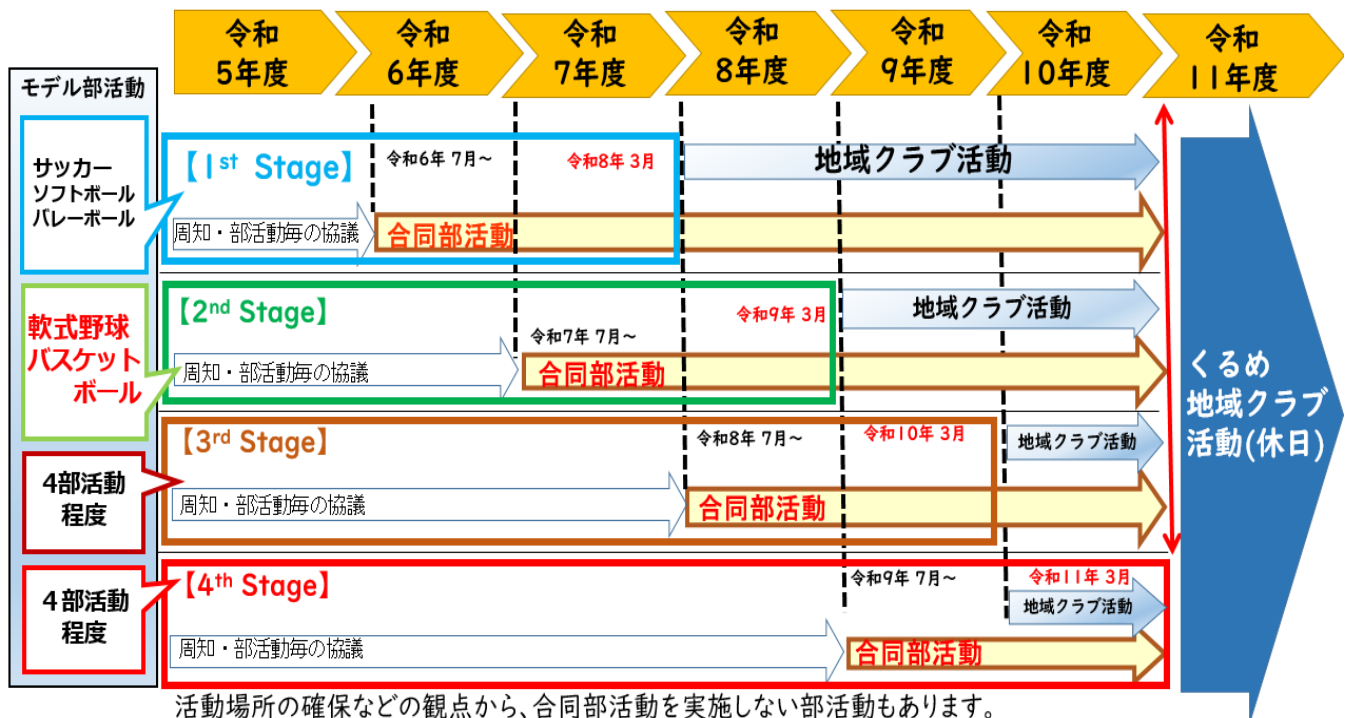
久留米市では、地域クラブ活動への移行に向けて、モデル部活動を設定し、段階的に種目数を拡大しながら合同部活動を実施しています。

令和6年度モデル部活動

「サッカー」「ソフトボール」「バレーボール（男女）」

令和7年度モデル部活動

「軟式野球」「バスケットボール（男女）」



活動場所の確保などの観点から、合同部活動を実施しない部活動もあります。

部活動から地域クラブ活動への引継ぎを丁寧に行うために、令和8年度～10年度については、モデル部活動を拡大していくとともに、**休日の合同部活動は継続して行います。**

なお、地域クラブの整備や十分な引継ぎができた部活動については、地域クラブも選択できる期間とし、**令和11年度から全部活動での休日の地域展開を目指します。**